

2012 年硕士研究生入学初试试题

科目代码: 359 科目名称: 日语翻译基础

注: (1) 本试题共 3 页。

(2) 请按题目顺序在标准答题纸上作答, 答在题签或草稿纸上一律无效。

一、単語の翻訳 (30 点)

1 中国語の単語を日本語に訳しなさい。(10 点)

- ①夕阳产业 ②优化管理 ③朝阳产业 ④升级 ⑤换型
⑥翻两番 ⑦以人为本 ⑧宏观经济 ⑨ 风险企业 ⑩智囊团

2 略語の意味を日本語で書きなさい。(10 点)

- ①NHK ②CCTV ③ G8 ④ WTO ⑤NPO
⑥ODA ⑦ PKO ⑧APEC ⑨ASEAN ⑩EU

3 日本語の単語を中国語に訳しなさい。(10 点)

- ①リーディングカンパニー ②ブランド効果 ③通信販売
④手抜き工事 ⑤世論調査 ⑥六者会談 ⑦覚書 ⑧バブル消費
⑨ボトルネックによる制約 ⑩便乗値上げ

二、文章の翻訳 (120 点)

1 中国語を日本語に訳しなさい。(60 点)

(1) (40 点)

胡锦涛就中日关系发展提出了五点主张:

第一, 要严格遵守《中日联合声明》《中日和平友好条约》和《中日联合宣言》单个政治文件, 以实际行动致力于发展面向 21 世纪的中日友好合作关系。

第二, 要切实坚持以史为鉴、面向未来。日本军国主义发动的侵略战争给中国人民带来了深重的灾难, 也是日本人民深受其害。正确认识和对待历史, 就是要那场侵略战争表示的反省落实到行动上, 决不再做上海中国和亚洲有关国家人民感情的事。希望日方能以严肃的态度处理好历史问题。

第三, 要正确处理好台湾问题。台湾问题是中国的核心利益, 涉及 13 亿中国人民的民族感情。日本政府多次表示坚持一个中国的政策, 不支持台独。希望日方以实际行动体现上述承诺。

第四, 要坚持通过对话, 平等协商, 妥善处理中日间的分歧, 积极探索解决分歧的办法, 避免中日友好大局收到新的干扰和冲击。

第五, 要进一步加强双方在广泛领域的交流和合作, 进一步加强民间友好往来, 以增进相互了解, 扩大共同利益, 是中日关系健康稳定地向前发展。

希望双方以此次会晤为契机, 采取切实措施, 化解分歧, 克服困难, 努力使中日关系健康稳定发展。

(2) (20点)

生協は“生活協同組合”の简称，这个组织的目的是为了集体购买食品、日常用品和服装等生活必需品，同时还开展医疗、互助保险和住宅供给等事业。生協是以地区或行业为单位组织起来的，大家共同出资开展事业以便改善并提高生活水平。生協不同于一般的股份公司，他是一个利益均摊的非营利组织。因为是由同住一个区域的人或者是同一个单位工作的人组织起来的，所以不分性别，不分人种、政治信条或宗教的区别，任何人都可以参加，并且可以自由退会。生協是以团购的方式购入物美价廉的生活物资提供给会员为主要事业发展起来的，所以大部分会员是家庭主妇。生協是消费者作为会员直接或间接参加经营才运作起来的，因此消费者同时也是经营者。

2. 日本語を中国語に訳しなさい。(60点)

(1) (30点)

字面は硬いが、勤労感謝なる言葉は味わい深い。収穫に謝する新嘗祭（にいなめさい）の休みを継いだせいもあるだろう。祝日法にある「勤労を尊（たつと）び、生産を祝い、国民互いに感謝しあう」という素朴さがいい ▼対立するかに聞こえる名言が、劇作家のバーナード・ショーにある。「老いゆえに遊びをやめるのではない。遊びをやめるから老いるのだ」。なるほど、遊興は人生を潤し、よく遊ぶ者は時に大成する。無論、よく働いた上での話である ▼大王製紙の井川意高（もとたか）前会長（47）が、特別背任の疑いで東京地検に逮捕された。子会社から勝手に100億円超を借り出し、ほとんどを海外のカジノ遊びに費やした上、数十億円の損害を与えたという ▼大負けは時の運にしても、創業家3代目の優位を乱用した罪は重い。かの散財はどう見ても、人間修業というより道楽である。紙問屋の若旦那がよからぬ界限（かいわい）に入り浸り、店の金を使い込む。時代劇なら古い番頭あたりが諫（いさ）める場だが、乱行は止まらなかった ▼その昔、旦那どころか世の本店（おおだな）がこぞって賭場に入れ込んだ時代があった。財テクと称するギャンブルだ。オリンパスの負けは1300億円にも膨らんだが、表沙汰を恐れて帳簿をごまかしてきた。こちらも特捜部が関心を寄せる ▼精勤あつての息抜き、本業あつての余資運用である。遊びが過ぎた若旦那も、保身に汲々（きゅうきゅう）とした本店の面々も、きょうの旗日はほろ苦いだろう。幸か不幸か億の額には縁遠い小欄、ご同輩と存分に勤労を称（たた）え合うとする。（天声人語）

(2) (30点)

▼東京・芝浦の有名ボウリング場が、震災で休んだまま、40年近い営業を終えた。その一角、駐車場のくすんだ外壁に目を凝らすと、日焼けの名残のごとく「JULIANAS」の文字跡がどうにか読める ▼20年前、この地にジュリアナ東京が開業した。社会現象とまで言われながら、店は3年3カ月の泡沫（うたかた）に終わる。跡地にできたスポーツ品店も今年初めに閉じ、殺風景な扉が残るだけだ

▼商社の日商岩井（現双日）が外資と手がけた大型ディスコは、都築（つづき）響一さんの『バブルの肖像』によれば「一種の仮設祭礼空間」だった。「ひと晩だけ、いつもより少しだけ大胆に肌をさらし、音楽に乗ることさえできれば、そこではだれもが女王様になれた」▼倉庫を改装したフロアでは夜ごと、肉感的な装いの女性客が、通称ジュリ扇（せん）を手にお立ち台で身をくねらせた。バブル経済の象徴のように語られるが、株価や景気はとうに下り坂で、実際はバブルの焼け跡に咲いたあだ花だった▼続く時代は失われた10年と呼ばれた。財政と金融の不全に政治の混迷が加わり、今に至る20年が無為に消えたとの見方もある。貧しくとも静かな生活を望んだところで、前提となる平穏や安全が揺らいでいる ▼あの不夜城の、ひりつくような熱狂の中に本物の幸せは見つからなかった。かといって自分の殻にも閉じこもれない。ならば目下の複合災害を、せめて大切なものを取り戻す契機にしたい。足るを知り、助け合う生き方。バブル以前の忘れ物である。

（天声人語）